



Pick Up!



国府町地域おこし協力隊 次郎萬 仁美さん

ます。具体的には、国府町D.E.E.会議と連携し、空き家の現状調査や、移住者としての国府町での暮らしをSNSに投稿し、魅力の発信に努めています。風景や食べ物など、自分が良いと思ったものを投稿し、日常の目線でありのままを伝えるようにしています。

直近では、鳥取東高校の「鳥取学」という授業で、1年生と一緒に国府町の特産品を考えることがありました。国府町は万葉のふるさとということで、当時から食される発酵食品をテーマとして考え、生徒たちもたくさん意見を



出してくれました。一生懸命に取り組んでくれて、とても嬉しかったです。こ

現在の活動は？

兔ッ兎ワイナリーに所属し、国府町の活性化に取り組んでいます。

みなさんに向けて

自分がそうであったように、年齢や性別に関係なく、自分のやりたいことにいつでも挑戦できるということを一番に言いたいと思います。

今後は、空き家を活用したゲストハウスの運営を目指して活動していきます。また、地域の居場所作りにも関わっていきたくと思っています。慣れない雪に苦戦していますが、これからも頑張ります！



鹿野町地域おこし協力隊
津田 夏海さん

空き家活用などに取り組む「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」に所属しています。現在は、まちに眠る古物や昔の木材を生かすための新事業に携わっています。蚤の市などイベント企画もしています。ぜひ鹿野町へ遊びにお越しくださいね。

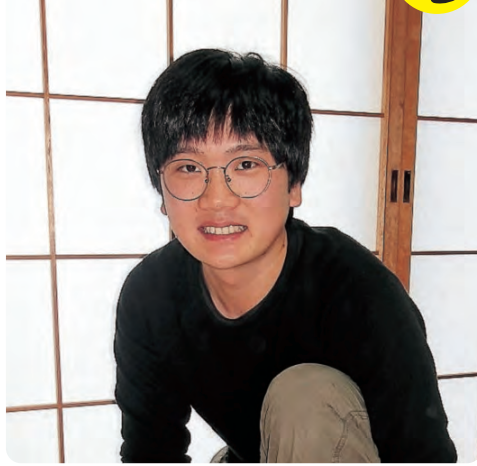


気高町地域おこし協力隊
山本 幸弘さん

浜村地区活性化委員会にて就任し、現在3年目になりました。Instagramでの魅力発信、地域イベントの創出を行うほか、県立美術館オープニングでの貝殻節の披露も手がけています。一緒に活動していただけるみなさん、よろしくお願いいたします。



Pick Up!



用瀬町地域おこし協力隊 堺 泰樹さん

現在の活動は？

2つ大きなミッションがあり、1つは、用瀬町の伝統文化である流しびなの製作技術の継承と持続的な製作体制の確立です。用瀬町にとって流しびなは重要な位置を占めており、観光行事としても民俗行事としても地域の人の心とつながっていることを感じます。現在は、流しびなの製作を行うグループの活動に参加し、作り方を教えていただいています。長い伝統の中に自分も入っていると思うと、やりがいと身の引きしめる思いがします。

2つ目は、空き家の掘り起こしと利活用です。用瀬町内の空き家の調査をしたり、利活用に向けて所有者と相談をしたりし



みなさんに向けて

地域おこし協力隊は、自分の力だけでは仕事ができません。流しびなも空き家も、地域に住む人たちとともにあり、伝統を残したい、空き家を活用して地域を盛り上げたいという気持ちに支えられています。

流しびなを作りたい人、用瀬町の空き家をお持ちで活用にお困りの人はお気軽にお声がけください！一緒に用瀬町を楽しみたい人はぜひお越しください！



佐治町地域おこし協力隊
鈴木 匠さん

はじめまして。佐治町地域おこし協力隊の鈴木匠です。俳優・カメラマンなどの経験を生かし、人々をつなぐことを目的としたデジタルコミュニティの構築を行います。佐治町と全国の人々をつなげ、より魅力的なまちになるよう意見を出し合い発信していきます。

